

# 平成30年度 決算

## 元気な渥美半島の 実現を目指して

一般会計の歳入総額は、前年度に比べ9.9%増の312億4,287万円、

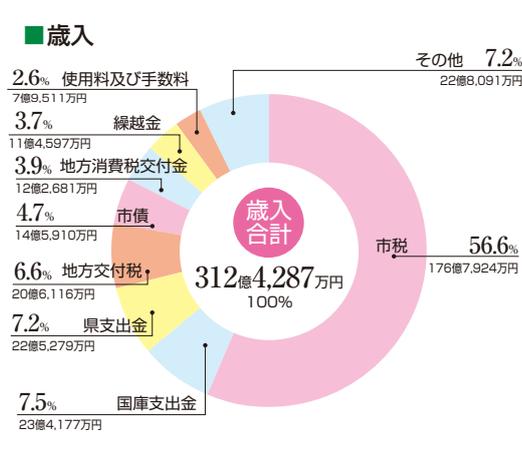
歳出総額は、前年度に比べ4.6%増の289億9,035万円となりました。

実質収支額※は、13億4,480万円の黒字で、前年度に比べ8億2,946万円増(16.1%増)となりました。

歳入歳出決算額は、市税および県支出金等の増加、介護保険の保険者が東三河広域連合に変更したことに伴う一時的な拠出金の支出などが要因で、増額となりました。

### 歳入 市税・地方交付税増加

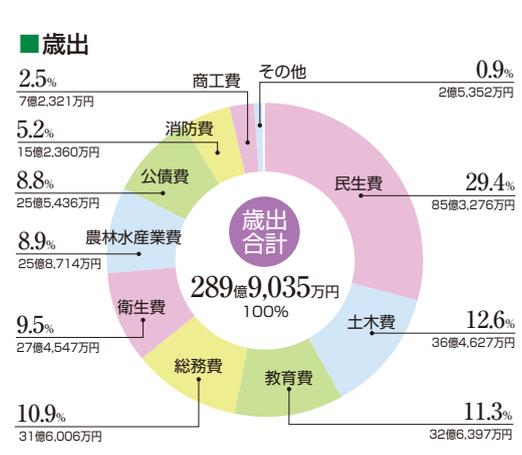
市税は22億7,198万円増(14.7%増)の176億7,924万円となりました。主な要因は法人市民税で、前年度に比べ23億6,377万円増(84.6%増)となりました。地方交付税は、特別交付税の増額で、1億3,604万円増(7.1%増)の20億6,116万円となりました。



### 歳出 重点施策を着実に実施

長期的展望に立った行政サービスの再構築や財源の確保を図りながら、交

今後は、合併算定替※の終了による地方交付税の縮減や、税制改正による法人市民税率の改定で歳入減少が見込まれることから、財政調整基金※の取崩額を抑え、基金残高の確保を図りました。



流人口拡大や雇用の創出など、優先度の高い事業を厳選し、将来を見据えた前向きな地域づくりに向けた3つの重点施策を実施しました。特に平成30年度は、ワールドサーフィンゲームスや全国井サミットなどの世界的・全国的なイベントの開催、親子交流館の建設や、新斎場建設地の造成、地域医療体制確保のための赤羽根



●ワールドサーフィンゲームス

## 一般会計の歳入歳出決算

### 実施した重点施策の主な事業

【定住・移住促進、交流人口の拡大】定住・移住促進奨励金／空き家対策の推進／ワールドサーフィンゲームス開催／全国井サミット開催／道の駅あかばねロコステーション改修【雇用創出】企業立地奨励金／畜産振興・農業経営活性化／農商工連携支援【住み続けたいまちづくり】田原市街地の活性化／福江市街地の活性化／赤羽根診療所の開設／保育の充実／教育環境の改善【持続可能な地域づくりと行政基盤づくり】国民健康保険・介護保険広域化／公共施設適正化の推進

診療所開設などを行いました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、424億6,370万円(7.5%減)、歳出総額は399億7,108万円(9.6%減)となりました。これは介護保険の保険者が東三河広域連合に変更されたことに伴い、介護保険特別会計が廃止されたことが要因です。

※【実質収支額】歳入歳出差引額から翌年度への繰越事業に充てる財源を控除した額。一年間の「損益」

※【合併算定替】合併後15年間の普通交付税額が3町が存続した場合の額を下回らないように保障する制度。11年目から段階的に引き下げられる

※【財政調整基金】急激な収税の落ち込みや災害などに備えるための「貯金」